

グローバルでのコンプライアンス意識の向上と持続可能な企業体質の強化

Materiality

アイチグループでは、ガバナンスとコンプライアンスのさらなる徹底を図るとともに、法令遵守の意識強化に努め、健全な事業活動をグローバルで実施していきます。また、リスク発生時に迅速に対応できるよう、管理体制への見直しと従業員教育を徹底し、健全かつ適切な事業活動をグローバルに実施できる体制を展開してまいります。

CSRマネジメント

基本姿勢

各種法令や条例を遵守することはもとより、良き地球市民としての務めを果たすため、社会常識や良識に基づき、地域・人との関係も重視した経営を実践します。当社は、全てのステークホルダーから信頼されるCSR経営を実践するため、「CSR長期ビジョン」を制定し、CSR中期計画に基づいた施策を行っています。

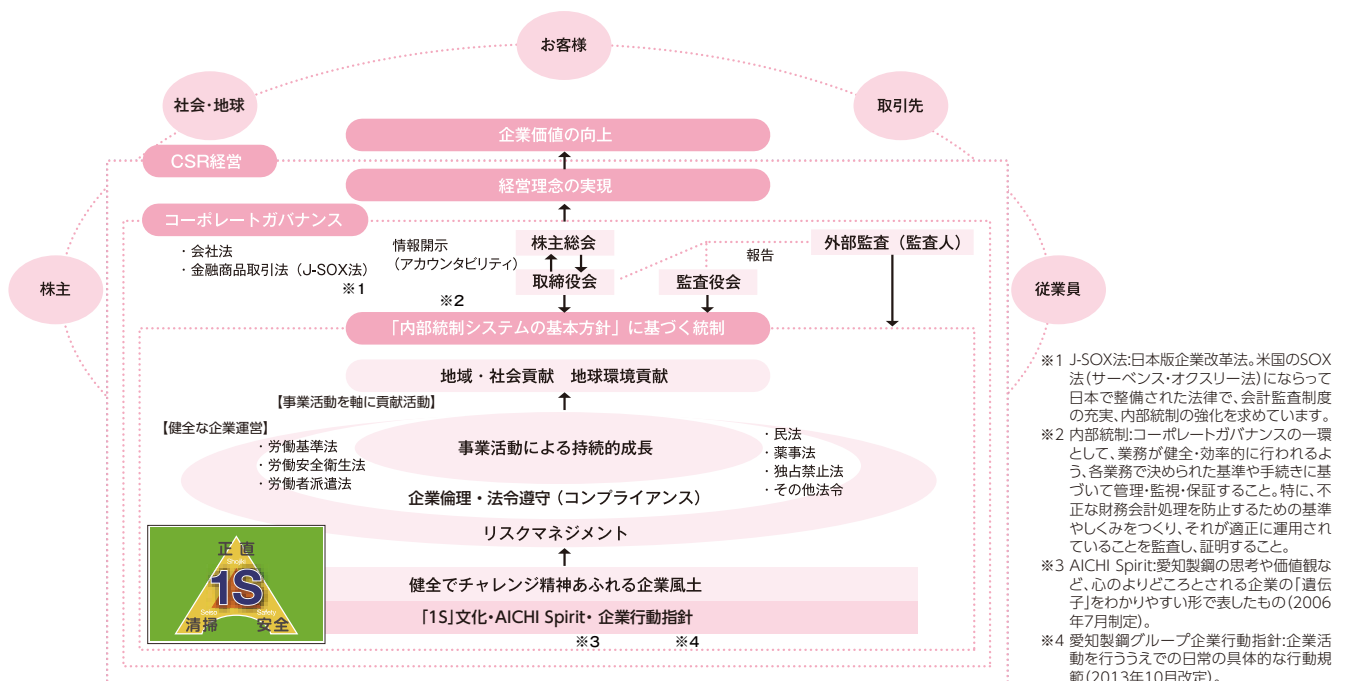
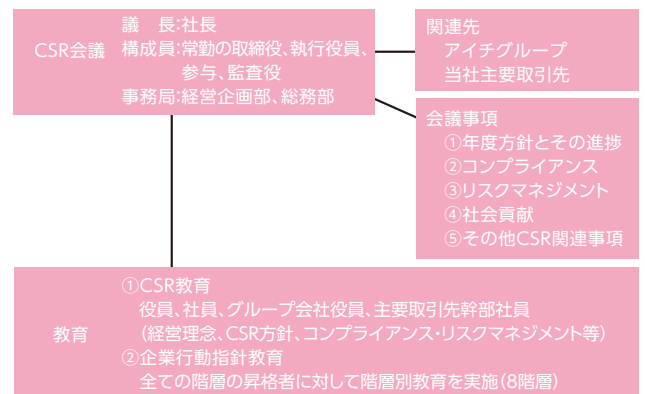
CSRガイドライン

1998年に制定した「愛知製鋼企業行動指針」を2007年に見直し、グローバル経営での行動規範とした「愛知製鋼グループ企業行動指針」(WEB参照)に基づき、アイチグループ本社におけるCSR経営のよりどころとしています。また、当社は社内規程として「経営基本規程(2分類4項目)」「就業規程(2分類15項目)」「組織規程(2分類7項目)」「業務管理規程(10分類303項目)」を定め、関連法令や環境の変化があった場合の逐次見直しと定期的な確認・監査、制定・改定の実行をしています。

CSR体制

社長を議長とした「CSR会議(会議体)」を年1回(3月)開催し、CSR経営の確認・報告を行っています。2016年度より、更なるCSR体制の強化を図るため、CSR会議を年2回(10月、3月)開催とし、年度中にCSR経営の中間確認・報告を行うこととしました。

CSR体制



※1 J-SOX法:日本版企業改革法。米国のSOX法(サーベンス・オクスリー法)にならって日本で整備された法律で、会計監査制度の充実、内部統制の強化を求めています。
 ※2 内部統制:コーポレートガバナンスの一環として、業務が健全・効率的に行われるよう、各業務で決められた基準や手続きに基づいて管理・監視・保証すること。特に、不正な財務会計処理を防止するための基準やしきみをつくり、それが適正に運用されていることを監査し、証明すること。
 ※3 AICHI Spirit:愛知製鋼の思考や価値観など、心のよりどころとされる企業の「遺伝子」をわかりやすい形で表したものの(2006年7月制定)。
 ※4 愛知製鋼グループ企業行動指針:企業活動を行ううえで、の日常の具体的な行動規範(2013年10月改定)。

CSR全社活動計画: '15年度実績

	重点実施事項	達成方策	目標	実績・課題	評価
社会貢献・事業運営	1. 環境・社会貢献に繋がる地域活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> ◇社会への積極的な情報発信とフィードバック推進 <ul style="list-style-type: none"> ・広報ツール改善とメディアとの信頼関係強化 ◇工場美観改善活動によるイメージアップ ◇新事務本館・新本館建設委員会による企画の練り上げ・詳細設計への展開と年末着工 ◇目に見える環境貢献施策の推進: <ul style="list-style-type: none"> ・新田緑地25年計画の具体化 ◇「鉄の教室」効率化の企画・準備 ◇「ボランティア基金」の社内外への再浸透と財源安定化 ◇東日本大震災の復旧復興への継続支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ワンコイン募金事業:使途・効果見える化と加入促進 	25件/年 個別実施計画 年末着工 長期計画作成 カリキュラム作成 基金額150万円 加入者50人増	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアへの積極的な情報発信実施により目標達成(28件) ・当社HP企画・ウェブサイトデザイン完了 ・工場美観確保への修繕活動を計画どおり推進中 ・新本館建設委員会の定期開催による全体進行管理:計画どおり'15/12月末着工完了 ・長期計画策定を見据えた課題洗い出しを実施中 ・「鉄の教室」年間スケジュール立案と計画的な準備により参加者に満足感・新たな発見を与える授業を実施 ・ボランティア基金の各方面への有効活用策を鋭意検討中 ・より効果的・効率的な観点でのワンコイン募金使途の見える化方策を検討中 	○
	2. お客様の工コ志向に対応する商品、技術開発・提供	<ul style="list-style-type: none"> ◇高圧水素用ステンレス鋼:AUS316L-H2の更なる拡販 	130トン/年 1)MIRAI:15ト 2)ステーション:115ト	<ul style="list-style-type: none"> ・水素需要を先読みした拡販活動を展開中 <ul style="list-style-type: none"> 1)トヨタ[MIRAI]→[車載需要]…15ト/年へ売上拡大 2)水素ステーション→[新規建設需要]…85ト/年へ売上拡大 	○
リスクマネジメント・コンプライアンス	3. 天災、外部環境変化で自社で防ぐことのできないリスク対応	<ul style="list-style-type: none"> ◇ハード面の防災対策の実現(新本館・液状化対策) ◇早期生産復旧仕組みづくり(キーマン確保、代替工程明確化等) ◇防災マニュアルの作成と実践的訓練 	個別実施計画 一覧化 教育実施	<ul style="list-style-type: none"> ・防災機能を完備した新事務本館の建設:BCM観点での免震機能+対策本部の迅速立上げ可能な企画を織込 ・生産復旧分科会の定期開催による課題抽出・対策の推進 ・防災マニュアルへの記載項目、および防災訓練での実施必要項目の洗い出しを推進中 	△
	4. 自社制御可能なリスク・コンプライアンス対応	<ul style="list-style-type: none"> ◇リスクマネジメント <ul style="list-style-type: none"> ・グループ全体のリスク管理強化 ・リスク・コンプライアンス事案の対応力強化 ・機密管理 ◇コンプライアンス <ul style="list-style-type: none"> ・コンプライアンスの真の徹底 	個別実施計画 個別実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・知多工場/爆発事故発生～初動・生産復旧対応を実施 ・グループ全体のリスクマップ作成:事故を受け抜本的に見直し ・効果的なメディアトレーニング・模擬記者会見の実施 ・海外子会社への機密管理機能強化活動を推進中 ・若手技能系社員への不正・犯罪防止抑止施策の実践 ・15勉強会等による上司のコンプライアンス感度向上施策の実践 ・国内子会社との定期的なCSR連絡会の開催 	△
人材育成・企業風土	5. 仕事の質を高め、グローバルな事業展開に対応した人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> ◇技術系プロ人材育成体制の更なる充実: <ul style="list-style-type: none"> 1)2年目以降講座の構築(操業、設備面の深化) 2)各部内教育(OLT)充実:カリキュラム及びテキスト作成、講師養成 ◇語学力底上げ・OT研修によるグローバル人材づくり ◇基幹職時間外労働時間低減と有給休暇取得率向上 	全社スルーの基礎技術取得 計画どおり推進 個別実施計画	<ul style="list-style-type: none"> ・事業共通設備である油圧・空圧の回路講座についての2年目技術者向け研修企画書作成完了 ・各部計画をワーキンググループで毎月フォローすると共に各部門教育への合同参画実施による知識基盤底上げ ・OT研修を通じての語学力・マネジメント力底上げを含めた海外赴任への意欲喚起施策を推進中 <ul style="list-style-type: none"> →'15年度実績:AFC:1名、AIT:1名、語学研修1名 ・グローバル講演会('15年7月実施)でのグローバル意識醸成 ・労使検討委員会を新たに立上げ、労務実績見える化による月次実績フォローの強化および課題抽出と対策検討を推進 	○
	6. 安全・快適な職場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ◇とんでもない災害撲滅活動 <ul style="list-style-type: none"> ・安全人間づくり <ul style="list-style-type: none"> →ルールを守る人づくり、仕事の始めと終わりのKY 実施 ・安全な標準づくり <ul style="list-style-type: none"> →定常作業のルール明確化、繰り返し教育とスキル訓練 ・安全な場づくり <ul style="list-style-type: none"> →安全な場づくり中計に基づいた未然防止活動 ◇構内事業所支援 <ul style="list-style-type: none"> ・構内事業所安全相互研鑽会による自律運営促進 ◇「女性社員制服を考える会」での快適な職場環境の検討 	重大・休業災害0件 不休災害4件以下 職業性疾患0件 '15/7月導入	<ul style="list-style-type: none"> ・ルール遵守の心の醸成と真の定着活動を実施 <ul style="list-style-type: none"> ◇休業災害1件、不休災害8件発生 <ul style="list-style-type: none"> →現場管理者の安全マネジメント指導 →危険体感・気付き訓練の継続実施 ・安全な作業手順書整備の継続推進 ・安全中計に基づく「とんでもない災害」撲滅活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> →「狭まれ」「歩車分離」改善によるDランク排除 ・火災防止特別活動の展開(火元動線マップ活用等) ・「構内事業所安全研鑽会」:構内事業所15社でA、Bグループ月1回の自主活動を継続実施 ・女性全社横断チーム(12名)発足:ありたい姿検討、社内調査・他社ベンチマーク等も踏まえ'15/10月より制度導入開始 	△

2015年度CSR実施項目の反省・課題の抽出

3.天災、外部環境変化で自社で防ぐことのできないリスク対応
4.自社制御可能なリスク・コンプライアンス対応

事故を教訓としたグループ全体の抜本的なリスク管理強化

- ・事故の振り返り・反省を踏まえた弱点の整理、およびそれを踏まえた事業基盤強化プランの立案・推進
- ・防災+BCM観点を取り入れたリスクマップの整備・運用
- ・コンプライアンスの徹底に向けた各種施策の強力な推進

6.安全・快適な職場づくり

事故・災害ゼロ活動の強化・徹底による安全環境・基盤整備

- ・とんでもない災害撲滅活動の継続と徹底
 - I)安全人間づくり II)安全な標準づくり III)安全な場づくり
- ・事故を踏まえたルール・手順遵守再徹底活動の推進
- ・ダイバーシティ対応も見据えた職場・作業環境の更なる改善